

# 被災宅地危険度調査状況

[平成12年11月28日現在]

1. 調査市町村 1市7町
2. 調査要望箇所 396件
3. 調査済箇所 396件 (調査率 100.0%)
4. 調査未済箇所 0件
5. 調査班投入実績 36班

[延べ143人 (県職員72人、県建設業協会35人、市町村職員36人)]

(平成12年11月28日終了)

市町村名	調査要望箇所	調査済箇所	未調査箇所	投入調査班数	摘要
米子市	74	74	0	7	
西伯町	110	110	0	10	
会見町	17	17	0	2	
岸本町	94	94	0	8	
淀江町	2	2	0	(1)	
日南町	16	16	0	2	
日野町	63	63	0	5	
江府町	20	20	0	2	
合計	396	396	0	36	

\*西部の他市町村は、現在のところ調査依頼無し。

## 6. 調査結果の概要 (調査結果件数---396件)

調査員が被災宅地の現地調査を行い、被災箇所の危険度 (大・中・小) を判定した。その判定結果は、宅地所有者に「調査結果表」として配布し、被災の状況や程度を説明した。

**被害大** 139件 (35.1%)

被災箇所付近は危険なため、近寄る場合は十分注意が必要。早急に復旧が必要

**被害中** 155件 (39.1%)

被災箇所付近に近寄る場合は注意が必要。長期間放置すると危険と思われる。

**被害小** 102件 (25.8%)

構造物や人命に対して危険はないと思われる。

### (1) 助言内容 (調査員が被災状況から判断し、自主的に宅地所有者へ助言した事項)

調査結果表の配布とともに、今後被害が拡大しないよう、土地所有者に対し応急措置 (ブルーシートによる防水措置、クラック箇所のモルタル充填等) や早期復旧を行うよう勧めたり、復旧工法 (ブロック積や練石積による復旧、宅地排水溝の設置等) などについて説明した。

#### (内訳)

- ・復旧に関する指導 (応急措置、早期復旧の勧め、復旧工法等) --- 175件 (44.2%)
- ・危険箇所への立入りに関する指導 --- 24件 (6.1%)
- ・「構造物は特に支障ない」、「被災の拡大の恐れはない」等 --- 27件 (6.8%)
- ・その他 --- 34件 (8.6%)
- ・特になし、不在 --- 136件 (34.3%)

### (2) 相談内容 (調査時に宅地所有者等から相談があった事項)

相談件数は63件で、全体396件の15.9%であった。

#### (内訳)

- ・復旧工法に関するもの --- 26件
  - ・「施工業者はどうすればよいか」等 --- 9件
  - ・「裏山は大丈夫か」等 --- 6件
  - ・「補助金 (又は融資) は受けられるか」等 --- 7件
  - ・その他 --- 15件
- 計 63件